

麻生津小学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

〔日 時〕 令和4年11月7日（月） 9：15～10：45

〔出席者〕（1）学校側出席者 麻生津小学校校長、担当教諭、公民館長
（2）市側出席者 福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、
福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

〔訪問内容〕 ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
・足羽山どんぐりプロジェクトの実施

〔講 評〕 ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な（身につけるべき）能力・態度

I	環境の取組	能力・態度	概念
	≪環境学習・環境教育≫ ・教科・総合的な学習の時間・特別活動の授業の中で、環境問題を取り上げた授業を行います。 ・児童の実態に応じて、持ち物を大切にする指導を行います。	①、②、③、⑤、⑦	①、②、⑤、⑥
		所感 学校訪問当日は好天に恵まれたこともあり、教室での口頭とDVD視聴により「どんぐりプロジェクト」の趣旨や意義を説明したうえで、中庭にて、4年生2組（計60名）を対象に、6グループに分かれて、どんぐり種子のポットへの植え付け作業を行った。 児童たちが、講師の説明を真剣に聞き、理解してくれたことが、その後の種子植え付け作業にも反映しており、とても感心した。 また、4年生を中心とする環境学習では、気候変動の現状や原因について学習した後、自分たちでできる防止対策の一環として、ゴーヤやヘチマによるグリーンカーテン作りに取り組んだ。そのうえで、それらの内容や成果を広く発信していることは、高く評価したい。	

Ⅱ	環境の取組	能力・態度	概念
	《省エネルギー・省資源》	②、④、⑤、⑦	③、⑤、⑥
	・使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。 ・こまめに水を止めて使うなど、節水を意識できるようにします。 ・プリントを印刷するときは、必要な枚数を確認したり、反古紙利用したりします。 ・職員の資料や連絡は、できるだけデータで共有できるようにします。 ・お便りのデータ配信を活用して、ペーパーレスに取り組んでいきます。 ・エアコンの稼働は気温の高くなる教室から順に時間差で行います。	所感 学校訪問当日は、学校側（校長、担当教諭）から、環境への取組についての報告を受けたのち、意見交換した。 その後、学内巡視を行い、随所に節電や節水を呼びかけるポスターなどが掲示されていることを確認した。 また、前年度から、ペーパーレス化の一環として、保護者あてのお便りをメールに変更したが、その際、希望者には印刷物の入手が可能なよう配慮するなど、半年かけて丁寧に手続きを進めたとの説明に、そのための苦勞がしのばれた。	
Ⅲ	環境の取組	能力・態度	概念
	《ごみ減量・リサイクル》	④、⑤、⑥、⑦	③、⑤、⑥
	・福井市のごみ分別ルールに従って分別します。 ・雑紙袋をごみ箱の横に配置して資源として回収し、できるだけ燃やせるごみを減らします。 ・委員会などを通し、児童自身がごみを減らそうという意識が高まるような取り組みを行います。	所感 地道な取り組みですが、今後とも、継続して行ってほしい。	
Ⅳ	その他の所感		
	学校訪問時には、終始、校長・担当教諭・公民館長が熱心に麻生津小学校の取り組みを説明され、こちらの話を熱心に聞いてくれる姿勢が印象に残った。 また、どんぐりプロジェクトの一環として行っている、今回の児童によるどんぐり種子の植え付けは、児童間の発芽率競争を目的とするわけではなく、水やり等適切に管理しても、来春には、すべてが発芽するわけではないので、その結果の受け止め方（これが自然の摂理であることなど）について、児童に適切に指導・対応してほしいと思います。		

〔訪問の様子〕

